



岳洋学舎経営構想

※中学生は7、8、9年生と位置付ける。

1 目指す子ども像

- (1) 自分オリジナルの考え方をもち、積極的に表現する子
- (2) たくましさの源となる「自己有用感」が高い子
- (3) 学力の三要素のひとつ「学びに向かう力・人間性等」が高く、自分から学習に向かう子

2 取組の中核

「学力向上」

キーワード→自己肯定感向上、体験の機会「増」

(1) 向上させる学力について

ア 授業に主体的に取り組んでいる

イ 相手を意識して、分かりやすく伝えようとしている

ウ わかったことや学習の振り返りを書くことができる

重点目標  
思い 挑戦 高め合い

児童の実態

- 思いがあれば挑戦ができる
- 心のチャンピオンを目指した。
- 友達の良いところを見つけることが得意
- △他者意識が弱い
  - ・メタ認知能力・伝える力・友達を認める力
- △自分から行動する力が弱い

学年・学級で



学校経営方針「安全安心」「人権尊重」

授業で



学校経営目標2…「教育」

児童が主体的に取り組み、高め合う授業を実践する学校

- ・授業がわかる **A評価 60%**
- ・授業に主体的に取り組んでいる **AB評価 95%**
- ・学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている **A評価 50%**

学校経営目標1…「今日育」

児童が日々安心して笑顔で楽しく活動する学校

・学校は楽しい **A評価 70%**

・みんなで何かすることは楽しい **AB評価 97%**

学校経営目標3…「共育」

子供同士、子供と職員、職員同士が協力し高め合う学校

学びを地域に開き、保護者・地域に信頼される学校

・信頼できる先生がいる **AB評価 95%**

・地域や社会をよくするために、何をすべきかを考えることがある **A評価 65%**

生徒指導

学年・学級経営で「子供の自信(自己肯定感)個の力・他者意識」を育てる

～児童が日々安心して生き生きと楽しく生活する学年・学級づくり～

- ・特別支援教育の考えを基に、合理的配慮、個に応じた支援・良さを認め合う心のチャンピオン
- ・いじめの未然防止(道徳・人権教育の充実)、組織で対応

人権教育 特別支援教育 福祉教育 国際理解教育 健康教育 安全教育 環境教育



学びつくり部

授業で「子供の自信(自己肯定感)

・個の力・他者意識」を育てる。

～児童が主体的に取り組み、高め合う授業づくり～

行事・活動で



活動つくり部

行事・活動で「子供の自信(自己肯定感)

・個の力・他者意識」を育てる。

～児童が「自分ごと」としてつくる行事・活動づくり～

信頼される頼もしい職員集団

になるための行動指針

【安全安心】【人権尊重】【信頼関係】

【自己研鑽】【責任協働】【業務改善】

【適正サービス】

子供たちに寄り添う職員集団

になるための業務改善

- ・勤務実態により、勤務状況を把握し、改善に生かす。
- ・有効会議の精選
- ・日課と行事の見直し
- ・電算処理の活用
- ・不祥事根絶研修
- ・ホームページ作成は級外が行う。
- ・学級学校支援、SSSの効果的配置と活用

研修

<研修テーマ> 知識・技能の確実な習得を目指す協働的な学び

～子供の「思い」を大切にしたい授業づくり～

◎子供を主語にした、子供の「思い」を大切にしたい授業づくり(単元構想)

◎他者と共に高め合う時間の充実(協働的な学び)